



①電車からの風景（高山市一之宮町）



②祖父を訪ね、飛騨一之宮駅で降りる子ども



③町ゆく人はみな、宮笠をかぶっている



④農作業中も



⑤釣りをしても



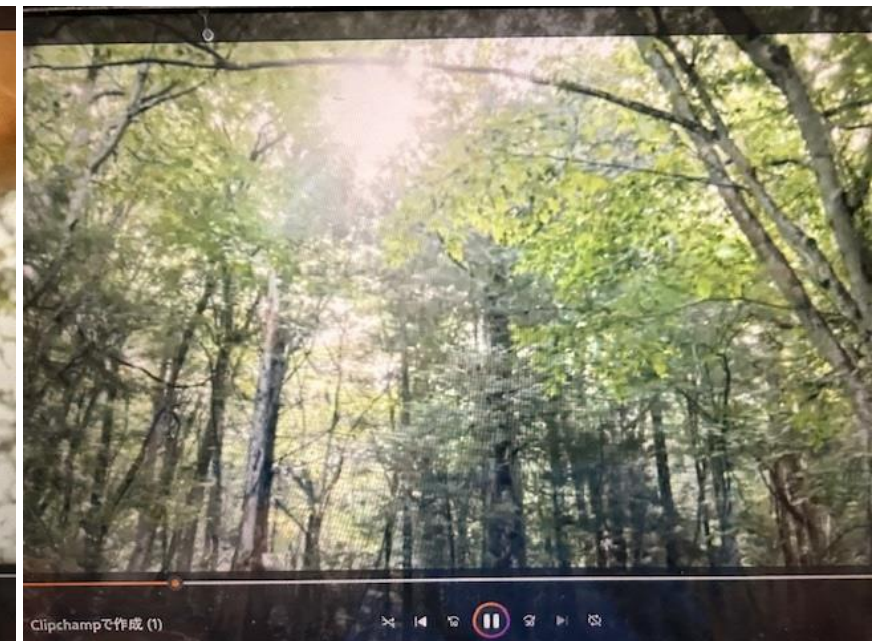
⑥商店の人も



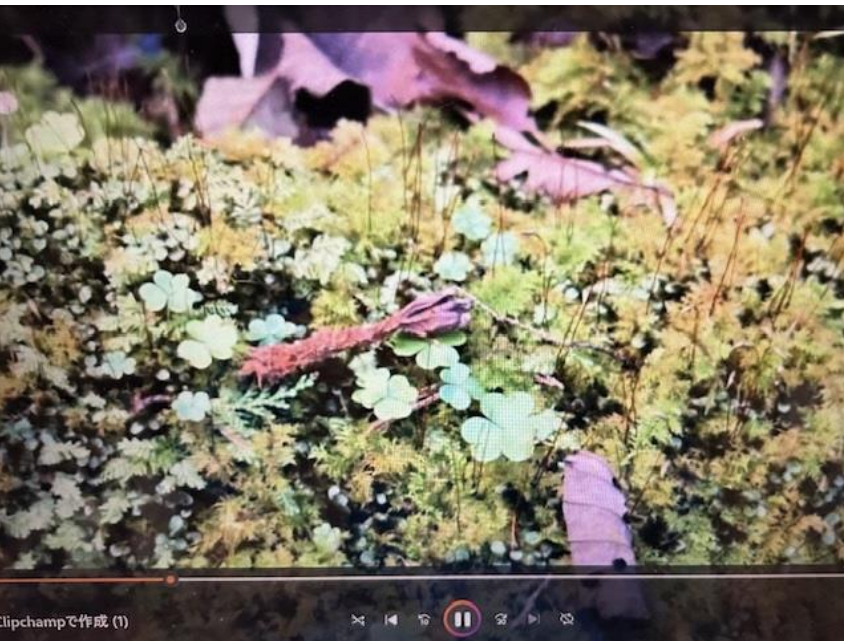
⑦迎えに来た祖父とともに川沿いを歩く



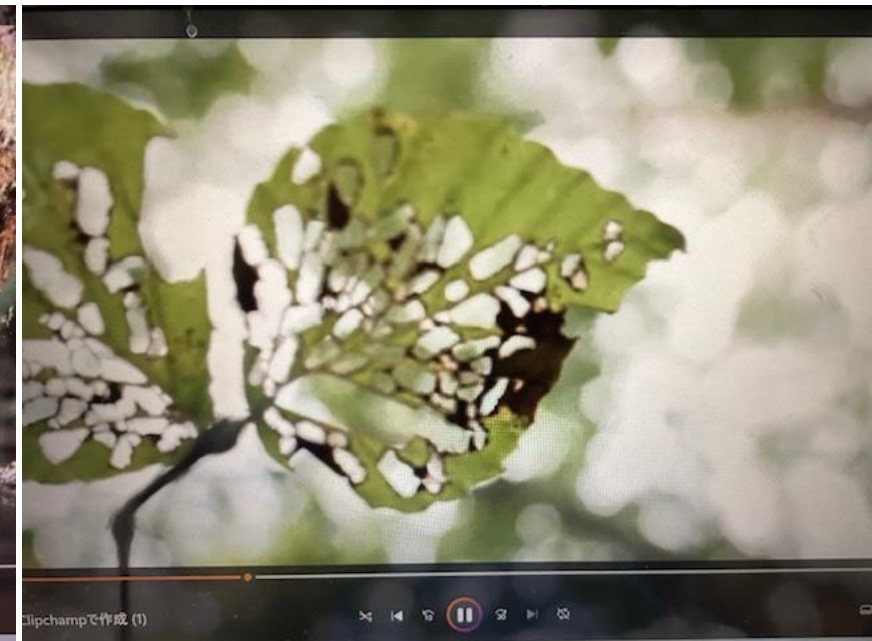
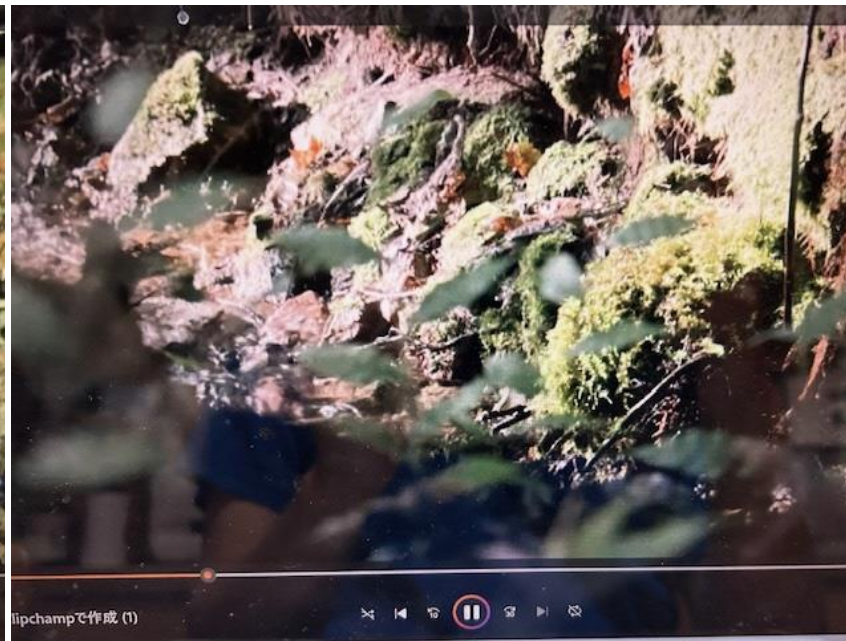
⑧祖父から宮笠を被らせてもらう子ども



⑨宮笠を被ると、森へワープ！

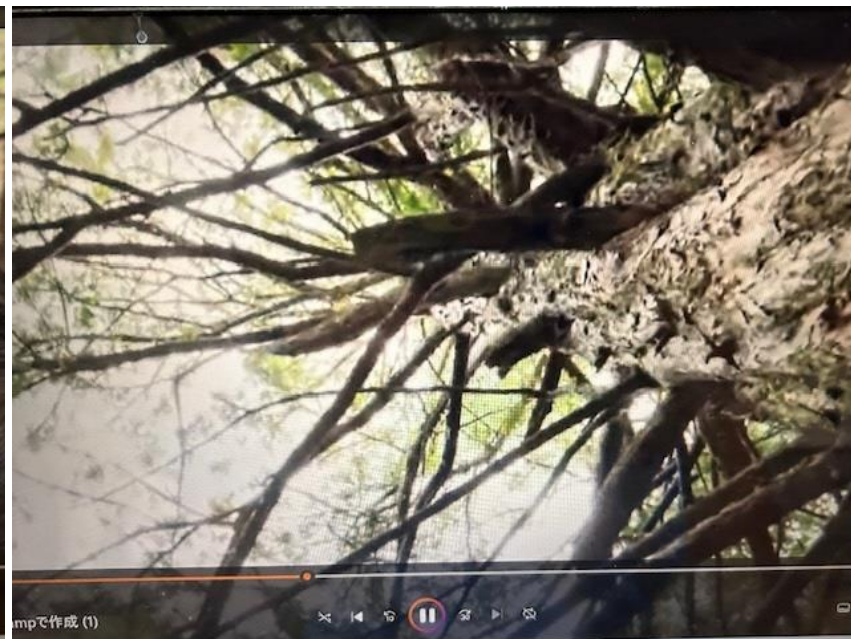


⑩森の中で、様々な生命の営みを感じる

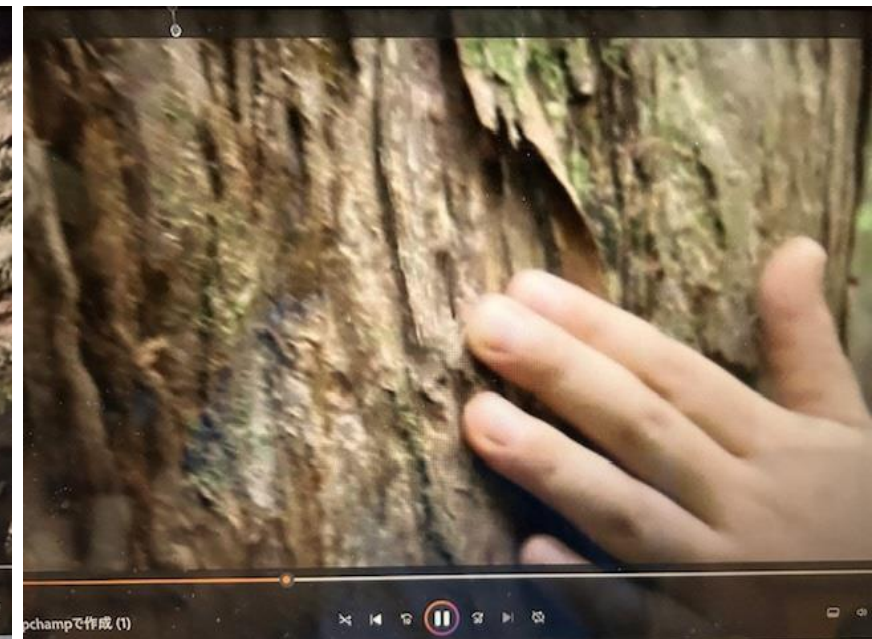




⑪大きな樹を見上げる子ども



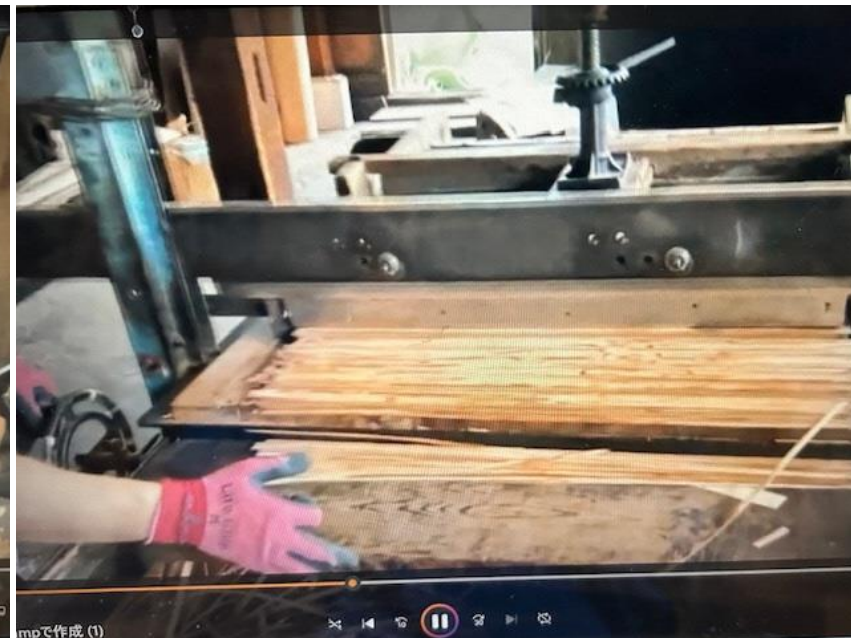
⑫それは宮笠の材料となるイチイの樹



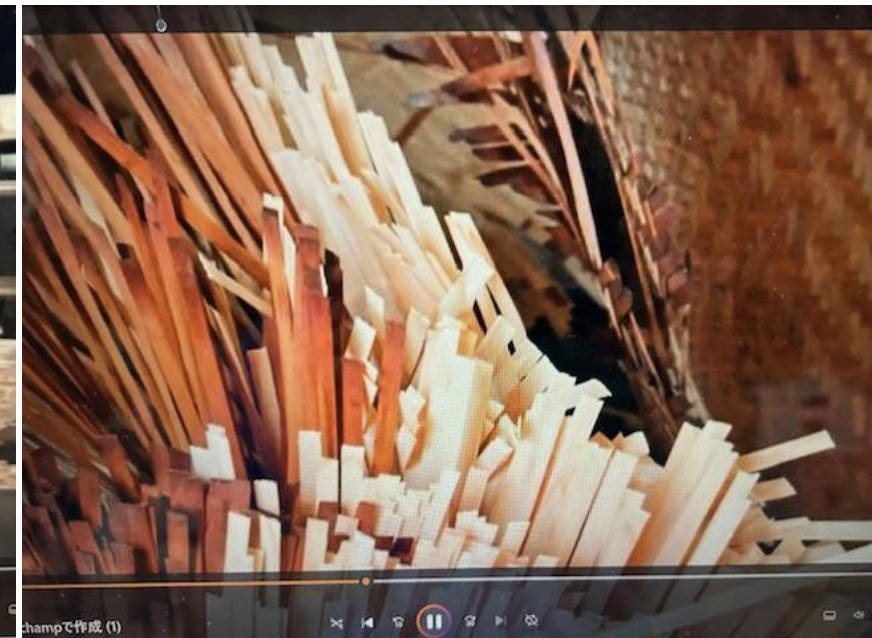
⑬樹に触れ、樹とのつながりを感じる



⑭場面は、宮笠のひで作りへ移る



⑮樹をカツラ剥きにして出来上がる「ひで」

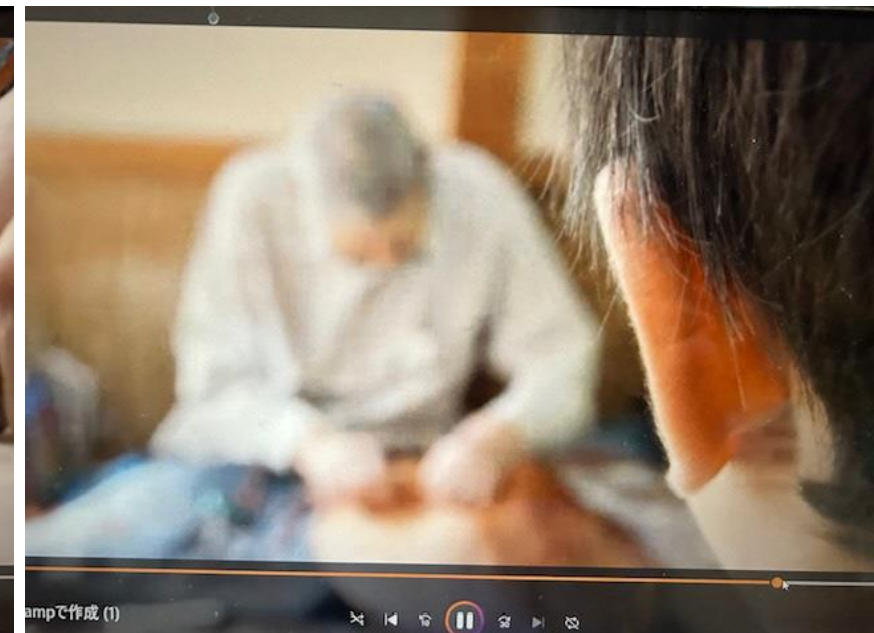




⑯場面は、宮笠職人の工房へ移る



⑰宮笠を編む手さばきを見学



⑱職人の技をじっと見つめる子ども



⑲宮笠のひでをもらって帰る子ども



⑳宮笠のひでを被り、祖父と言葉を交わす